

令和6年度 第8回 西区自治協議会 会議録

日 時	令和7年1月30日(木) 15:00~	会 場	西区役所健康センター棟 1階 大会議室
出席者	委員	大谷会長、風間副会長、久保田委員、伊藤(甲)委員、渡邊(恒)委員、齋藤委員、丸山委員、岩沢委員、伊藤(健)委員、竹田委員、伊藤(正)委員、藤橋委員、大島委員、青木委員、澤邊委員、荻野委員、朝倉委員、山賀委員、古俣(和)委員、山岸委員、篠田委員、長澤委員、前田委員、原澤委員、古俣(慎)、高橋委員 計26名	
	事務局	水野区長、内藤副区長兼総務課長、兼島地域課長、治田区民生活課長、吉岡健康福祉課長、浅間保護課長、石附農政商工課長、丸田建設課長、野崎西出張所長、大竹黒崎出張所長、内藤教育支援センター所長、高島坂井輪地区公民館長、真柄坂井輪図書館長 他	
傍聴人	県議・市議…3人／報道…1人／一般…1人		

【開会】

(地域課・土田補佐)

- ・出席予定委員数30名、会議成立の報告
- ・会議内容公表の報告
- ・資料内容確認
- ・報道の許可確認

【自治協からの報告】

(大谷会長)

それでは議事に入りたいと思います。まずは自治協からの報告であります。

部会の状況報告を各部会長より簡潔にお願いしたいと思います。

それでは第1部会・岩沢部会長お願いいたします。

(岩沢部会長)

資料1をめくっていただけませんか？

令和6年度の第10回、1月8日、出欠につきましては下記の通りです。

主な議事といたしまして、今年度の活動の振り返りです。これをかいつまんでお話ししたいと思います。

最初に、防犯講演会。11月16日、黒崎市民会館で実施しまして、おかげさまで大勢の方からお集まりいただきまして、300席に対して200人ちょっと入りまして、好評でありました。

その結果、アンケートをとりましたら、「非常に良かった」というのが82%でありました。それだけ特殊詐欺については問題意識があるなというふうに思っております。

したがいまして、ここで終わることなく、定例的にやった方がさらに効果があるだろうと。被害が0になることを願って取り組まなければいけないと思っております。

それからもう一つは自転車盗難防止です。

高校が3校ありまして、小針駅で新潟工業と、それから内野駅で日本文理高校と、それから内野西が丘駅で西高校の生徒会と一緒に取り組みました。

おかげさまで生徒会も意識を高めまして、特に西高校の女性の方からは、定例的にやっていただきたいという話がありました。

一過性ではなくて、何らかの形で継続的に行うことで、さらに効果が上がるというふうに考えておるところです。

続きまして、環境美化です。

これは看板を作りました。結果的に設置団体は46団体、そのうちコミ協が4団体、自治会が42団体でした。

この結果、非常に効果がありました。

特に今回、大谷さんから、黒崎ではポイ捨て看板によって、非常に効果があった、特に西警察の名前が明示されたということが、効果が大きいんじゃないだろうかということでした。

従ってこれは良かったなと考えておるところです。

西蒲区の看板に警察の名前がありましたように、我々はそれに倣って、西警察を活用したわけであります。

西蒲区の方では効果があったのかということも、事務局から成果を確認していただくことになりました。

裏面も見ていただきますと、成果と課題の取りまとめについて記載があります。

最初に、防犯関係であります。

成果としますと、高校生と共同で一体化できたことが非常に良かったということです。

それから課題につきましては、キャンペーンは実施する前に、
高校生の意見を聞くなど、コミュニケーションの必要性を感じたということです。

運動の途中で意見を聞いたんですけれども

ちょっとわからないと言われましたので、この辺を踏まえてですね、
今度やるときは事前に生徒会と話をすることを徹底するとの意見がありました。

それから、継続して効果をあげることが大事だろうということでもあります。この辺は来年度、
委員も改選になりますので、その方にやってもらうことになろうかと思えます。

それから環境美化につきましては、成果といたしまして、
看板の設置でゴミが減ったということで、非常に効果があったということです。

特に設置者や警察の記載、そして反射板看板で昼夜を問わず
暗いところでもよく見えたということで、これは非常に効果があったということでもあります。

そのような事がありましたので、今後とも継続していきたいなと思っています。

それから課題としまして、事業の継続方法ということで、
草刈りが行き届いていない部分は、ポイ捨てされる懸念があるということですね。

ゴミ捨ては草の生えている所にあるんですよ。

だからこれやっぱり刈らないと同じことになりますので、この辺は建設課になろうかと思いますが、
いろいろ相談してですね、草を刈らないと効果がないだろうというふうに考えております。

その他といたしまして、犯罪件数について事務局から話しがありました。

おかげさまで、自転車盗難等が減ったということであり、
我々の活動の効果はあったかなというふうに思っております。

結果的に非常に件数が減ったということで、喜ばしいことだと思います。

次回は2月12日、会議する予定です。私の方は以上です。

(大谷会長)

はい、ありがとうございました。

続きまして、第2部会・山岸部会長お願いいたします。

(山岸部会長)

はい、2部会の山岸です。よろしくお願いします。

2部会の第9回会議につきましては、1月14日午前9時から10時半まで、西区役所で行われました。出席者、欠席者については記載の通りです。

内容について、今年度のあいさつ運動と水平展開について確認をしています。

イオンとの連携について、イオン新潟西店での実施の詳細ということですが、1月25日土曜日10時半から11時半で、部会とそれからあと坂井輪の方々、五十嵐の方々、ご協力いただきましてありがとうございました。

部会ではない方々にもご協力いただきながら、出入口3ヶ所であいさつ運動が開催されました。店内放送もかけていただきましたし、非常に効果的だったんじゃないかと考えています。

2番です。協力団体からのフィードバックについてということで、全32団体の協力団体に対してアンケートを配布しましたところ、23団体から回答がありました。

回答率72%です。

そこに掲載されていた主な内容については以下の通りで、

「今期の活動内容について、防犯の側面にも非常に効果的な事業であった。」

「のぼり旗が非常に破損しやすいので外に置きづらかった」「更なる周知を」

といったようなこともありました。

メディアにアプローチする場合には、「その後のムーブメントが起きるかどうか」という視点も重要なので、今後はそういったところもアピールしていく。」ということ。

それから今後の具体的な活動方法については、「キャラ作成や授業など、

小さな子供たちにも分かりやすいものを作ったらどうか」とか、

「既存活動に取り組んでいる団体の活動を紹介するといいいのではないか。」

「今後は支え合いの具体的な例も考えていけるといい」といったご意見がありました。

それから更なる水平展開については、「今後も継続し、多様な団体を巻き込んで、理解を深めてもらい、目的としている支え合いの大切さを普及しようというところが理解されるといいな」ということ。

それから「今後も継続して協力可能と答えた団体が100%だったということで非常にありがたかった」と意見が出ています。

ぜひ継続して活動支援していきたいと考えていますが、また部会の中では、「部会自体が動くというよりも、今後は多様な主体と組みながら模索していったらいいんじゃないか」というようなご意見もたくさん出ました。

裏面に行きます。

成果の取りまとめにつきましては、事務局が作成した資料に基づいて意見交換を行って、次回の部会で確認することとしましたが、2月につきましては、1月は皆さん休日の日に来ていただいてあいさつ運動を頑張っていたいただいたので休会として、3月に次年度に向けての取りまとめをしっかりと考えていきたいと考えています。

以上です。

(大谷会長)

はい、ありがとうございます。

続きまして第3部会・山賀部会長お願いいたします。

(山賀部会長)

第3部会は1月10日金曜日に、内野まちづくりセンターで行いました。

今回はフォトコンテストのことが中心でした。

フォトコンテストは最終的に98件の応募がありまして、この日に審査をしまして、西区ベストショット賞となる20作品を決定しました。

現在事務局の方から入賞者に確認の連絡をとっているところで、公表につきましては2月中旬以降ということになりますので、この自治協議会本会での報告については次回以降になります。楽しみにしててください。

入賞者の決定後に商品の選定について検討しました。

当初の条件通り、昨年と近いんですけども、3,000円相当の西区の特産品をいっぺこ〜とさんに見繕ってもらうこととしました。

古俣雄次委員に仲介していただいで選んでもらうということになりました。

まず見繕ってもらっているので、内容については事務局の方から随時部会で共有してもらって細かい調整を行うことになりました。

今後の流れですが、先ほど言いましたように、今入賞者の連絡などをやっております、中旬以降に入賞者を公表し、下旬以降に賞品発送ということです。

連絡つかなかった方は、辞退とみなして、追加は選ばないということにしました。

その他の応募された作品も非常にいい写真がたくさんありまして、同じ人で複数枚出されている方もいて、そういう方は1枚だけ選ばせてもらったっていうのがあって、いい写真がたくさんあったので、実施要綱に基づいて、この先はホームページなどで活用していくことを確認しました。

最後、成果の取りまとめについてということで、事務局の方で作成してくださった取りまとめ資料に基づいて、意見交換を行いまして、修正するところを確認しました。

追加で修正したいところは随時事務局に連絡して、それらを反映した最終的な資料は2月の部会で再度確認するということになりました。

次回は2月7日開催です。

以上です。

(大谷会長)

はいありがとうございました。

続きまして広報紙特別部会の長澤部会長お願いいたします。

(長澤部会長)

はい。広報紙特別部会は1月14日、3時から区役所4階対策室にて第10回会議を行いました。

出欠については記載の通りです。

主な議事については、3月16日発行予定の第47号の紙面の内容について打ち合わせをいたしました。

1面については各部会の活動内容についての紹介をする予定にしております。

メインは3部会の今ほど報告がありましたフォトコンテスト、その入賞作品の掲載をメインとすることとしました。

あと1部会については、防犯活動の表彰の場面、2部会のあいさつ運動については、イオン様との提携の様子について掲載する予定といたしました。

続きまして、2面について、こちらの方は防災の基本、また潟・沼探訪記をそれぞれ3回シリーズでご紹介しております。

防災の基本については、日常で備えるべきことをテーマに、あとペットの防災、乳児の防災など、防災について幅広い内容で掲載を予定しております。

潟・沼探訪記については今回3回目となります。御手洗潟について掲載をすることといたしました。

続きまして毎年最終号で掲載しておりますクロスワードパズル。こちらも例年通り掲載することといたしました。

また発行までのスケジュールについて確認を再度いたしました。

次回開催は2月17日3時より、保健センター1階102会議室となります。以上です。

(大谷会長)

はいありがとうございました。

続きましてアートフェスティバル特別部会、高橋部会長、よろしく願いいたします。

(高橋部会長)

はいアートフェスティバル。よろしく願いいたします。1月16日に第9回会議を行いました。

主な議事につきましては、令和6年度自治協提案事業、事業評価書の中身について、主に成果と課題についての話し合いを行いました。

アートフェスティバル開催につきまして、その成果ですが、今回のテーマである「西区を元気に、あばれよう踊ろう」と、ステージ発表の内容がマッチしていて、良い相乗効果が生まれたことで、来場者が増えたということが一つ。

また、イベントの開催前と開催の後に新聞の掲載や地域のニュースで取り上げていただき西区アートフェスティバルや西区で活動する団体を広く知ってもらうことができたということが一つ。

そして新潟大学と連携した作品展示やワークショップにおいて、
学生と地域住民との交流が生まれ、受付業務なども自治協委員と学生が協働で行うことができました。

そして西区で活動する団体の発表の機会を提供することができた
ということが成果というふうに思っております。

課題についてなんですけれども、今年で第12回となり、
アートフェスティバルというイベントありきで進めてきたこの事業なんです、
もう一度現在の西区にどういった地域課題があって、
どういう目的を持って自治協提案事業として取り組んでいくかというところをもう一度再検討し、
話し合いをし、すり合わせをする必要があるかなというふうに考えております。

このアートフェスティバル特別部会、部員数少ない状況でやっているんですけれども、
やっぱりちょっとマンパワーが少ない、足りない部分がありまして、
部会の運営方法を見直すことも一つであり、
どういう形でこのアートフェスティバルというものを行うのか、イベントありきなのか、
内容についても、もう一度来年度、ゼロベースから考える必要があるかなというふうに思っております。

2月は休会としております。

3月の日程は、6日か13日でただいま調整中ということでお伝えさせていただきます。以上です。

(大谷会長)

はい、ありがとうございました。

最後に部会の状況報告、全体を通して何か質問がございましたらお願いしたいと思います。

(質問なし)

(大谷会長)

よろしいですか。質問はないようですので、

続きまして次長からの報告(2)委員推薦会議の状況報告についてであります。

委員推薦会議岩沢座長より報告をお願いいたします。

(岩沢座長)

資料2をご覧ください。開催日時と出席者は記載の通りでございます。

まず、委員の全体構成についてです。

1号委員については15のコミ協から1名ずつ推薦していただく、これは既にコミ協に依頼をしております。

それから2号委員と3号委員については、来期の意向調査の結果について事務局から報告がありました。そのようなことで今進めているところです。

全体の人数といたしまして、これまでは36名でありましたけれども、委員を減らしている各区の現状に合わせ、先般もお話しましたように公募委員の募集を2名とする等、多少委員を減らす方針で、今のところ全体で31名から33名と考えております。

次回は2月14日、3時からということであります。以上です。

(大谷会長)

はい、ありがとうございました。

ただいまの報告について質問がございましたらお願いしたいと思います。

(質問なし)

(大谷会長)

質問はないようですので続きまして、自治協からの報告(3)

西区地域公共交通検討会議の状況報告についてであります。

会議の出席者を代表して交通が所管分野の一つである

第3部会の部会長山賀委員より報告をお願いいたします。

(山賀部会長)

私から報告させていただきます。第1回の西区地域公共交通検討会議は1月20日に開催されました。

出席者はここに記載されている通りで、

自治協議会からは4名、それから住民バスの運営委員会からは2名で、

他は行政の方々や事業者の方々というところになっています。

主な議題ですが、最初にこの会議の目的や趣旨、

それからプランのスケジュール等について説明がありました。

この西区生活交通改善プランは後期計画の策定ということで、

今作成中のもので案が示されて、説明がありました。

その後質疑や意見が出されました。

質疑意見はほとんどが自治協の委員のみなさんですとか、住民バスの運営委員会の方々というふうなことでご承知おきください。

それで内容ですけれども、具体的な交通政策についてということで、プランの中で区バス、住民バスの継続的な見直しとか、利用状況やニーズ調査っていう施策が上がっておりまして、それに対して、見直しに関しましては、利用状況とかニーズ調査を踏まえて見直しになると思うんですが、区バス住民バス以外の新しい移動手段も最近各地で行われていることもあって、そういった新しい移動手段についてもやっぱり調査を行ってから研究を行うというような順序があるだろうという意見が出されていました。

そこを踏まえていただきたいということです。

それから新たな移動手段の調査研究という施策も上がっておりまして、それに対してなんですけど、これは交通事情に詳しい委員さんから、タクシーの利用というのはツールが使われるということが多いというような傾向にあるそうです。

ということもあって、公共交通機関ごとにニーズが多様化しているという状況が今あるということ、それからライドシェアも他区で運用されてはいるけれども、その区の中でも効果的な地域とそうでない地域もあるということで、やっぱり適材適所、地域ごとに考えて欲しいというご意見がありました。

それから新たな移動手段について考えるのは行政や地域だけじゃなくて、事業者も一緒に考えていく部分大きいということで、「交通事業者も含む」という言葉が入ってなかったの、その言葉も入れた方がいいというご意見がありました。

それから既に住民バスの運行維持が難しくなっている地域もありますので、その地域のニーズに即したバス以外の新しい手段ですとかサービスを柔軟に検討していくことが必要と思うという意見がありました。

それから、バスになりますけれども、小針駅の乗り入れについてご意見がありまして、黒埼の方からは最寄りの交通機関の一つとして小針駅を利用している方も多いということでした。

ですので、利便性が向上すると思うので、
小針駅までの乗り入れというのを進めてほしいというご意見がありました。

それから情報発信、運行団体と地域との連携についてということで、
公共交通を維持していくためには、行政の働きかけや事業者の努力だけじゃなくて、
やっぱり市民の意識を変えていくことが重要であるというふうなことで
情報発信についての施策が出されていましたが、
もう少し踏み込んだ対策も必要じゃないかということでした。

それから交通に関する課題やニーズは先ほどもご意見があったように、
地域によって様々であるので、地域の住民の方々自身が課題解決に向けて話し合える場の提供ですとか、
行政側の支援も必要だと感じたというふうな意見が出てました。

その他この案に対してプランに対しての御意見は今の内容でしたけれども、
その他各団体から地域公共交通に関する意見や情報が出されました。

次回2回目は書面開催として、今回の1回目が出た意見を踏まえた最終案を見て
書面で意見聴取を行うということになりました。

以上報告ですが、他の委員さんからも補足などがあれば、お願いします。

(大谷会長)

はいマイクを回しますのでどうぞお願いしたいと思いますが、よろしいですか。

(補足なし)

(大谷会長)

それでは質問はございますか。

(質問なし)

【その他】

(大谷会長)

ないようですので、その他に移ります。

今日の議題は以上ですが、委員の皆さんから何か連絡事項、
あるいは報告事項ございましたらお願いしたいと思います。

(古俣和博委員)

当日配布資料の4番、先般もお配りしておりますが、坂井輪地区公民館と共催で、それから県の防災支部と県支部と合同で実施します。

冬季の避難所体験ということで、公民館のホールで暖房をつけないで半日過ごします。これ全くリアルでシナリオも何もありません。

普通防災訓練ですと全部シナリオがあってそれに基づいて時系列でやるんですけど、入ってきた人はみんな避難者であり運営者だという立場で、実施します。

そして今回の講演は、永松動物病院院長、永松さんが講演してくれます。

この方は新潟市の獣医師会災害対策委員長で今回の能登半島地震のときも一生懸命、避難所環境心配されて、巡回してくださっております。

このような内容で冬の最中に、昨年と同じようにですね、避難所ってのがどんなものをリアル体験してもらおうということですので、ここにいらっしゃる方はみんな参加してくださることを期待しております。

よろしく申し上げます。

(大谷会長)

はい、ありがとうございますぜひ出席をしていただきたいと思います。

他に何か連絡したいことがございましたらお願いしたいのですが、よろしいですか。

(特になし)

(大谷会長)

事務局からの連絡はありますでしょうか。

【事務局からの連絡】

(地域課・土田補佐)

・次回会議案内

「令和7年2月28日(金) 午後3時～ 内野まちづくりセンター ホール」

(大谷会長)

・閉会宣言 [会議終了]